

私のすすめるこの1冊

児玉 一宏 (英文学科 教授)

『実践 日本人の英語』

マーク・ピーターセン(著)

どのような言語であれ、ネイティブ・スピーカーでない人が、外国語で何かを伝えようとするときに、適切な文体(形式)で意味の通じるコミュニケーションを実践することは、決して容易なことではありません。本書の中で、M. ピーターセン氏は、日本人が日本語の論理で英文を書こうとする際に陥りやすい誤りを指摘し、確実に意味の伝わる英語が書けるようになるために知っておくべき英語の論理構造をわかりやすく説明しています。すなわち、論理構造が大きく異なる日本語から英語へと頭を切り替えていくときの注意点がどこにあるかを、英語を書くという実践にあわせて具体的に解説しています。本書の内容を理解することで、日本語とは異なる感覚と論理で組み立てられている英語への理解を一層深めることができるでしょう。

本書には、著者が「マイ(my)問題」と称する箇所があり、そこでは日本人が好んで使用する“my~”という基本的な表現の落とし穴が見事に指摘されています。たとえば、「昨日、私は自分のブラウスを買いに渋谷へ行きました。」という文は、どのように英訳するべきでしょうか。次の英文は意味の通じる自然な文であると言えるでしょうか。Yesterday, I went to Shibuya to buy my blouse. 著者は英語圏の人であれば to buy my blouse に不自然さを感じ

ると述べています。日本語につられて所有格を使用して my blouse と英訳してしまうと、「私が持っている唯一のブラウス」という意味を伝えてしまいます。手に入れて初めて自分の所有物(my blouse)になるという英語の論理に気づくことができれば、to buy my blouse は不可解な表現になると言えます。

「昨日、私は自分自身のために(新たに)ブラウスを買いに渋谷へ行きました」と解釈して、Yesterday, I went to Shibuya to buy a blouse for myself. と表現すると、確実に伝わる英語表現へと様変わりします。著者自身、このように英訳できれば、英語のネイティブ・スピーカーにげんな顔をされることはないと述べています(この英文は、Yesterday, I went to Shibuya to buy myself a blouse. のような文体で表現することも可能です)。

このように、本書には英語の伝達力が高められる知見が随所にちりばめられていると言えます。また、著者 M. ピーターセン氏が日本人にとっての英文法の難所がどこにあるかを十分に心得ていることも窺い知れます。

本書の内容を読み解くことで、ネイティブ・スピーカーの発想や論理に近づき、英語を学ぶことの楽しさ、ことばについて思索することの面白さにあらためて気づかせてもらえることが期待できるでしょう。



私は大学院で初任教員養成コースに所属しています。国語科の授業の作り方、またインクルーシブ教育について関心があり、現在大学院で学んでいます。教科は中・高の国語科で、大学は他大学の文学部にて、近世文学や出版学について学んでいました。専門の文学について、大学院への進学、国語の授業の作り方の相談、また教育実習を経験しているので教育実習についてもアドバイスができるかと思えます。ここに書いていないことでも相談可能ですので、お気軽にご相談ください！

教職初任期教員



こんにちは！現在、私は大学院で英語をはじめとする言語学、英語教育について学んでいます。教員免許は小学校1種、中学校英語1種、中学校国語1種、高等学校英語1種を持っています。相談員として図書館にいる時にはぜひ相談にいらしてください。現在の困りや悩み事について一緒に考えていきましょう。お待ちしております！

教職教科学習探求（英語/国語）

支援員からみなさんへ：Part.2
 <掲載内容>アイコン、自己紹介、専修・
 コース名（専門分野）

学修相談カウンター で先輩に相談してみよう！

京教の先輩が勉強や教育実習などのお悩みに対応してくれます。ぜひ気軽にお立ち寄りください！

【時間】 授業期間の平日 2～4 限 のうち該当の時間
 【場所】 北館 2階 ラーニングcommons

※対応可能な分野や時間、その他詳細については
 図書館ホームページ等をご確認ください。



☆☆図書館は、いつも
 みなさんの「まなび」
 を応援しています☆☆



私は、数学教育研究室の黒田恭史教授のゼミに学部時代から所属しています。現在は学部時代の研究を継続して数学教育とExcelVBAを関連づけた教材作成を行っています。図書館の学習支援では、主に数学に関する質問やExcelVBAに関する相談など可能な限り答えさせていただきます！私の専門分野以外にも大学で困ったことや教員採用試験に関して聞きたいことなどいつでも相談しに来てください。大学院についても気軽に聞いてください。お待ちしております。

教職教科学習探求（数学）



私は大学院で高等学校数学科の授業におけるコミュニケーションの構築について研究しています。学部では数学と情報（数学7：情報3くらい）について勉強し、数学と情報の教員免許を取得しています。解析分野をテーマに卒論（「関数解析と楕円方程式」）を書きました。中高での教育実習の経験などお力になれることもあると思いますので、困ったことや気になったことがあればお声かけください。

教育実践授業力（数学/情報）

学生目線で選ばれた本をぜひ手にとって、
 レポートに目を通しながら読んでみてください！



学生によるブックレポート展示コーナー

テーマは「真面目に勉強」はカッコ悪くない！
 一歩先を行きたい京教生のためのおすすめ本！

必修科目「教育の理念と歴史」（神代准教授担当分）との協働企画として、受講生が選んだ図書館の本と、内容やおすすめポイントをまとめたブックレポートをセットにして展示しています。



【場所】 1階渡り廊下
 【期間】 7月8日～8月10日

eBook（電子書籍）の試読について

以下の内容で eBook（電子書籍）が試し読みできます。図書館で購入していないタイトルでも中身を見ることができますので、この機会にぜひご利用ください。

KinoDen（紀伊國屋書店）

2022年6月20日(月)～8月19日(金)

和書を中心に約4万冊、5分間の試し読みができます。

EBSCO eBook（EBSCO）

2022年6月20日(月)～9月19日(月)

洋書を中心に約22万冊を閲覧できます。

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第 32 回の報告

YouTube で公開予定です。
※YouTube 公開のみとなります。
【講師】荻野雄（社会科学科 教授）
【テーマ】二つの民主主義



※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください！

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



日曜開館を実施します

日曜日（8月7日）の9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひ！



8月30日(火)・31日(水)は臨時休館です

図書館システム更新作業のため、8月30日(火)・31日(水)は臨時休館となります。また、8月29日(月)17時よりシステム更新完了まで、OPAC（蔵書検索・各種Web申込）も利用できません。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。



館内の IPC 端末の利用停止について

情報処理センター（IPC）のシステム更新に伴い、館内ラーニングコモンズおよびグローバルスクエアの IPC 端末は以下の期間利用できませんのでご注意ください。停止期間：8月16日(火)～9月30日(金)



夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月27日(水)～9月27日(火)
院生・教職員：7月13日(水)～9月13日(火)
【返却期限日】10月11日(火)
※卒業・修了予定者は9月9日(金)まで



ごみ箱の移設

図書館北側玄関横に、5分類のごみ箱を移設しました。分別してきれいに使用してください。



リクエストと投票で話題の本を読もう

皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！

8・9月の投票期間は
8月1日(月)～9月15日(木)



企画展示室

美術領域一回生企画 涼風展
7月14日(木)から
27日(水)まで、開催されました。



児童書コーナー（南館1階）

幼児教育科主催
えほんのもし

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード（学生作）



『こぐまちゃんのみずあそび』
作：わかやま けん 出版社：こぐま社

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【8月の開館日時】

- ・1日(月)、8日(月)、22日(月)、29日(月)
14:00～17:00
- ・17日(水)オープンキャンパス 9:00～16:00

今月の逸品（8・9月）

『フズリナ化石』
（京都市左京区鞍馬山）

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム <https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **丸山 啓史** (発達障害学科 准教授)

「教育学と未来像 —Society 5.0と環境危機社会—」

丸山 啓史

京都教育大学紀要 2022, No. 140, pp. 43-53.
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/9678>

近年の日本の教育政策においては、Society 5.0 という未来像が示されるようになってい
ます。「ICT の活用」や「GIGA スクール構想」とも関連の深い未来像です。Society 5.0 は、
IoT (Internet of Things) ですべての人とモノがつながり、AI (人工知能) が必要な情報を
提供してくれ、ロボットや自動走行車が活躍する社会なのだそうです。「翻訳機」「会話ロボ
ット」「介護ロボット」の実用化も考えられています。なんだか『ドラえもん』の世界のよう
だと、私は思っています。

一方で、社会の未来像をめぐる近年の議論においては、環境危機が重視されることが多く
なっています。気候変動の進行、大気汚染、土壌の劣化、過剰揚水による地下水の枯渇、
乱獲による魚の減少、熱帯雨林の破壊、産業目的の採取による砂の枯渇、有害化学物質の浸
透、そうしたなかでの生物の多様性の喪失…。環境危機社会という未来像は、高い必然性を
もっています。

そうした現実をふまえて、これからの教育を構想する必要があります。環境負荷の大きい
生活様式を前提にした教育に、どれほどの現実味があるのでしょうか。高度なテクノロジーに
満ちた社会が子どもたちを待っているとも限りません。

本論文では、未来像に関する国内外の議論を参照し、Society 5.0 という未来像が極めて
一面的なもの(お気楽なもの)であることを指摘したうえで、教育学が環境危機に目を向け
るべきことを述べています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 140 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8/3-8/9 前期末試験
8/10-9/30 夏季休業
8/12-8/15 夏季一斉休業
8/30-8/31 図書館システム更新

2022年9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

※開館日程につきましては、変更と
なる場合がございますのでホーム
ページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC

(QRコード→)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.263 (2022年8月号)

発行日: 2022年8月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

